

平成 21 年度事業報告

平成 21 年度の基幹的な活動として、第 63 回大会を九州・沖縄支部担当（長崎市：主会場・長崎ブリックホール）にて開催し、日本栄養・食糧学会誌および JNSV 誌を定期的に刊行した。学会誌の電子論文公開においては、学会誌論文の過去分について、関連大学の協力を得て JST アーカイブサイトに掲載公開が開始されたため、その情報発信機能がさらに上昇することが期待される。また、各支部では支部大会、シンポジウム等活発な活動が展開され、そのうち関東、近畿、中国・四国、九州・沖縄の各支部では学会活動強化費事業としての活動、さらに、中部、九州・沖縄の各支部で若手活動強化費事業が実施された。

国際的活動としては、懸案であった平成 27 年に開催される第 12 回アジア栄養学会議（12th A C N）の日本（横浜市）への招致に関し組織的な運動により誘致に成功した。韓国、台湾の関連学会と MOU（Memorandum Of Understanding）を締結し、また中国との交流に努めるなど、東アジア諸国との関係強化を図った。

学会運営においては、経費削減の努力の一方、長年懸案であった会員サービスのインフラ整備を実施した。すなわち、エクセルによる会員管理を Web 上の会員管理システムに切り替え、会員名簿閲覧もオンライン化した。更に、ホームページを抜本的に見直し会員管理システムと一体化したシステムを構築した。

新公益制度移行に関しては、総会で承認された「公益社団法人」の認定申請を目指しワーキンググループ会合を 5 回開き、その間、情報の収集に努め、専門家のご意見を伺いつつ内閣府との事前相談も 3 回行って、本総会に定款の変更案を提示できるに至った。

1) 会員の状況（平成 22 年 3 月 31 日現在）

名誉会員	29 名
終身会員	135 名
正会員	3358 名
学生会員	749 名
団体会員	229 団体
賛助会員	55 団体（68 口）

2) 平成 21 年度物故会員（敬称略）

名誉会員	小池 五郎
終身会員	松野 信郎、林 伸一、沖増 哲、城戸 亮、小野崎 博通
正会員	紫垣 由則、本川 雄太郎、国実 直

3) 支部別状況

会員種別 支部名	名誉会員	終身会員	正会員	学生会員	団体会員	賛助会員 [口数]
北海道支部	0 (± 0)	3 (± 0)	116 (+ 1)	41 (+ 5)	12 (+ 2)	1[1] (± 0)
東北支部	0 (± 0)	6 (± 0)	175 (+ 7)	28 (- 3)	13 (+ 2)	0[0] (± 0)
関東支部	15 (± 0)	51 (- 1)	1285 (+ 4)	255 (-30)	103 (+ 7)	42[55] (± 0)
中部支部	4 (- 1)	12 (± 0)	397 (-10)	82 (± 0)	27 (+ 1)	2[2] (± 0)
近畿支部	4 (+ 1)	42 (± 0)	683 (- 8)	174 (+ 7)	31 (- 2)	8[8] (± 0)
中国・四国支部	1 (± 0)	11 (- 1)	347 (+ 5)	100 (+ 8)	27 (- 1)	2[2] (± 0)
九州・沖縄支部	4 (± 0)	10 (+ 2)	343 (+ 5)	69 (- 5)	16 (+ 3)	0[0] (± 0)
海外	1 (± 0)	0 (± 0)	12 (+ 3)	0 (± 0)	0 (± 0)	0[0] (± 0)
合計	29 (± 0)	135 (± 0)	3358 (+ 7)	749 (-18)	229 (+12)	55[68] (± 0)

() 内は平成 21 年 3 月 31 日会員に対する増減を示す。(平成 22 年 3 月 31 日現在)

4) 学術集会・講演会などの開催

- (1) 第63回日本栄養・食糧学会大会の開催(会頭 奥 恒行 長崎県立大学シーボルト校教授)
平成21年5月20日(水)～22日(金) 長崎市茂里町 ブリックホール
特別講演 5題、シンポジウム 10テーマ、一般講演 640題
参加者数(登録者) 2,050名

(2) 支部活動

①北海道支部

・講演会・シンポジウム

平成21年6月16日(火) 北海道大学農学部 N11講義室
分岐鎖アミノ酸の栄養シグナル分子としての生体調節機能 吉澤 史昭 (宇都宮大学)

・第39回日本栄養・食糧学会北海道支部大会

平成21年10月18日(日) 北翔大学北方圏学術情報センター「ポルト」
「食物アレルギーフォーラム in 札幌」

第1部

- | | |
|------------------------|------------------------------------|
| 1. 食物アレルギーの現状 | 板垣 康治 ((財)神奈川科学技術アカデミー・
横浜市立大学) |
| 2. 水産食品とアレルギー | 佐伯 宏樹 (北海道大学院) |
| 3. 花粉症と食物アレルギー | 池澤 善郎 (横浜市立大学院) |
| 4. 食物アレルギー治療の最前線 | 栗原 和幸 (神奈川県立こども医センター) |
| 5. 食物アレルギー児の心のケア | 松崎 くみ子 (跡見学園女子大学) |
| 6. 食物アレルギーにおける栄養指導のあり方 | 高松 伸枝 (別府大学) |

第2部

パネルディスカッション

一般講演 8題

②東北支部

・第43回 日本栄養・食糧学会東北支部大会

平成21年11月7日(土) 青森県立保健大学大学院健康科学研究科(教育研究A棟A111)
公開シンポジウム「地域を元気づける生理機能を有する地場食品素材の研究」

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 韓国における健康機能性食品産業の現状と展望 | 鄭 信教 (韓国慶北大学校農業生命科学大學) |
| 2. シジミのエキスと貝殻の研究について | 内沢 秀光 (地方(独)青森県産業技術センター) |
| 3. 野生果実の健康増進成分の探索 | 吉澤 結子 (秋田県立大学大学院) |
- 一般講演 12題

③関東支部

・第84回日本栄養・食糧学会関東支部総会およびシンポジウム

平成21年9月19日(土) 日本大学生物資源科学部

シンポジウム「栄養と食糧のバイオサイエンスー最近の話題からー」

うま味はたんぱく質摂取のシグナル ～たんぱく質の消化吸収における遊離グルタミン酸の新しい栄養・生理学的意義～

脂質代謝調節に関する最近の話題	畷山 寿之 (味の素(株)ライフサイエンス研究所)
ビタミン研究に関する最近の話題	佐藤 隆一郎 (東京大学大学院)
食品機能成分に関する最近の話題	竹中 麻子 (明治大学)
	有賀 豊彦 (日本大学)

・第12回脂質栄養シンポジウム

平成22年1月30日(土) お茶の水女子大学 講堂

シンポジウム「メタボリックシンドロームと脂質栄養」

セッション1 ～メタボリックシンドロームと脂質栄養～

メタボリックシンドロームから考える肥満の基礎	河田 照雄 (京都大学大学院)
メタボリックシンドロームから考える脂質異常症の臨床	都島 基夫 (慶應義塾大学)
特別講演 高血圧と栄養	久代 登志男 (日本大学)

セッション2 ～食事摂取と脂質栄養～

2010年版食事摂取基準について	佐々木 敏 (東京大学大学院)
メタボリックシンドロームと脂質栄養の基礎	池田 郁男 (東北大学大学院)

・第85回日本栄養・食糧学会関東支部会シンポジウム

平成22年3月14日(日) (独)国立健康・栄養研究所 共用第1会議室

シンポジウム「生活習慣の改善ー栄養と運動の併用効果と指導ー」

エネルギー消費量の個人間変動および肥満への寄与	田中 茂穂 (国立健康・栄養研究所)
骨及び脂質代謝に及ぼす食品成分と運動の併用効果	石見 佳子 (国立健康・栄養研究所)
栄養・食生活の枠組みからみた子どもと保護者を対象とした食教育の評価	稲山 貴代 (首都大学東京)
中国における生活習慣病の現状とその予防策	呉 堅 (日清オイリオグループ株式会社)

④中部支部

- ・第57回 日本栄養・食糧学会中部支部大会
平成21年6月20日(土) 愛知教育大学 第1共通棟
日本栄養・食糧学会 受賞講演会

平成21年度学会賞受賞

『食事因子による含硫アミノ酸代謝の制御に関する研究』 杉山 公男 (静岡大学)

平成21年度奨励賞受賞

『クロマチンリモデリング因子による小腸吸収細胞遺伝子発現誘導機構』
望月 和樹 (静岡県立大学)

シンポジウム「アミノ酸の機能と栄養」

タウリンと腸管炎症

清水 誠 (東京大学大学院)

アミノ酸による骨格筋タンパク質の分解抑制

長澤 孝志 (岩手大学)

脂質代謝を制御するアミノ酸の新たな機能

佐藤 隆一郎 (東京大学大学院)

- ・第58回 日本栄養・食糧学会中部支部大会
平成21年11月14日(土) 名古屋大学大学院生命農学研究科
一般講演 22題

⑤近畿支部

- ・第48回 日本栄養・食糧学会近畿支部大会
平成21年11月8日(日) 京都女子大学
マスターズレクチャー

非必須栄養素の栄養機能を求めて

辻 啓介 (食進研究所)

循環器疾患の栄養疫学 - 30年間の追跡調査 -

田中 平三 (甲子園大学)

市民公開講座 「食の安全」

食物アレルギーの予防-アレルギー表示と寛容誘導-

成田 宏史 (京都女子大学)

遺伝子組み換え食品の安全性

鎌田 博 (筑波大学生命科学研究科)

一般講演 64題

⑥中国・四国支部

- ・日本栄養・食糧学会 中国・四国支部主催公開講座
平成21年6月27日(土) ノートルダム清心女子大学
「栄養学: 温故知新」

脳とエネルギー代謝調節: その半世紀の歩みを回顧して

嶋津 孝 (愛媛大学名誉教授)

アミノ酸栄養発展をふり返る

吉田 昭 (名古屋大学名誉教授)

古典的营养学に学ぶ

菅野 道廣 (九州大学名誉教授)

ルミナコイド研究を顧みて

桐山 修八 (北海道大学名誉教授)

- ・第42回 日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会
平成21年11月7日(土) 鳥取県立生涯学習センター・県民ふれあい会館 (ホール)
平成21年11月8日(日) 鳥取大学農学部

特別講演

栃の実の健康機能~生活習慣病予防素材としての可能性~

木村 英人 (寿製菓(株))

モズクフコイダンの新たな健康機能性について

川本 仁志 ((株)海産物のきむらや)

きのこ類の遺伝資源収集と環境汚染物質浄化への利用

須原 弘登 (鳥取大学)

きのここと健康

霜村 典宏 (鳥取大学)

一般講演 21題

⑦九州・沖縄支部

- ・第63回 日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部大会 (日本農芸化学会関西・中四国・西日本支部、日本食品科学工学会西日本支部と合同学術講演会として開催)

平成21年10月30日(金) ロジワールホテル那覇

平成21年10月31日(土) 琉球大学千原キャンパス

特別講演

新型インフルエンザウイルスの起源と対策宣言

根路 銘 国昭 (生物資源研究所所長)

シンポジウム

生物資源利用と酵素応用の新展開

1. 植物キチナーゼの構造と抗真菌活性との相関

平良 東紀 (琉球大学)

2. 有用酵素の構造解析とそれに基づく基質特異性の改変

稲垣 賢二 (岡山大学)

3. 産業利用に向けた微生物酵素の探索・応用研究

小川 順 (京都大学)

4. 有用酵素生産システム構築に向けた酵母の分子育種

玉置 尚徳 (鹿児島大学)

5. 生物資源としての亜熱帯微生物ライブラリ

新里 尚也 (琉球大学)

食の健全性と健康長寿

1. 食品の健全性評価へのアプローチと展望	松本 清	(九州大学)
2. 食品成分の免疫調節作用とその分子基盤	立花 宏文	(九州大学)
3. 低栄養と自然免疫による生体防御	渡部 久実	(琉球大学)
4. 食べ物とアレルギー：日本人のエビデンス	三宅 吉博	(福岡大学)
5. 沖縄食パターンは生活習慣病リスクを減少させるか	等々力 英美	(琉球大学)
一般演題	378 題	

5) 学会誌その他刊行物の発行

(1) 日本栄養・食糧学会誌 62 巻 2 号～6 号、63 巻 1 号の刊行

①2008 年度 投稿論文 34 編

採択率 67% (取り下げ除く)

掲載可	20 編	掲載否	10 編
取り下げ	4 編	審査中	0 編

②2009 年度 投稿論文 34 編

掲載可	8 編	掲載否	7 編
取り下げ	1 編	審査中	18 編

③発行状況

	総説	報文	ノート	資料	動向	速報	講座	書評	計
62-2	1	0	1	0	0	0	0	0	2
62-3	3	1	1	0	0	0	0	2	7
62-4	2	1	0	1	0	0	0	2	6
62-5	1	1	2	0	0	0	0	2	6
62-6	1	1	2	0	0	0	0	1	5
63-1	1	1	1	0	0	0	0	0	3
総計	9	5	7	1	0	0	0	7	29

④刊行状況

	納本日	予定日
62-2	4月 20日	4月10日
62-3	6月10日	6月10日
62-4	8月21日	8月10日
62-5	10月13日	10月10日
62-6	12月11日	12月10日
63-1	2月12日	2月10日

⑤日本栄養・食糧学会誌編集委員会の開催 (メール会議を含む) 3 回 (メール会議 1 回)

昨年 4 月から電子媒体での投稿を受け、それを用いた査読作業を実施している。

昨年に引き続き電子査読システム (J-STAGE) の導入を検討し、本学会誌での編集に適したシステムの構築がほぼ終了した。

それに応じて変更した投稿規定を本年第 3 号に掲載し、6 月より電子査読システムを用いた査読を開始する予定である。

(2) Journal of Nutritional Science and Vitaminology (JNSV)

①編集状況の報告

日本ビタミン学会との共同編集 Vol. 55-No. 2~No. 6、Vol. 56-No. 1 の刊行

平成21年12月18日現在

理事会			分野別投稿数						分野別採択数						
資料提出日	Vol	年	Total	V	N	F	R	Note	Total	V	N	F	R	Note	備考
3月7日	55	2009	24	3	17	4	0	2	28	4	22	2	0	4	55-2まで
5月19日			58	9	38	11	0	6	44	6	32	6	1	9	55-3まで
7月18日			83	14	55	14	0	10	56	7	40	9	1	11	55-4まで
10月24日			134	21	90	23	1	21	68	8	48	12	1	15	55-5まで
1月9日			162	22	110	30	1	25	78	10	56	12	1	16	55-6まで

Total は、V、N、Fの合計。

V: Vitaminology
N: Nutrition Science research
F: Food Science research
R: Review

(各号の内訳)						
Total	V	N	F	R	Note	巻号
13	3	9	1	0	1	55—1
15	1	13	1	0	3	55—2
16	2	10	4	1	5	55—3
12	1	8	3	0	2	55—4
12	1	8	3	0	4	55—5
10	2	8	0	0	1	55—6

	60日以内	90日以内	120日以内	全採択数	180日以上
2001年 (採択数)	0	7.5% 5	35.8% 24	67	38.8% 26
2002年 (採択数)	6.6% 5	25.4% 19	44.0% 33	75	30.7% 23
2003年 (採択数)	3.4% 3	14.8% 13	37.5% 33	88	31.8% 28
2004年 (採択数)	4.2% 3	11.3% 8	21.1% 15	71	43.7% 31
2005年 (採択数)	5.8% 4	30.4% 21	17.4% 12	69	34.8% 24
2006年 (採択数)	8.2% 7	32.9% 28	23.5% 20	85	16.5% 14
2007年 (採択数)	15.4% 12	30.8% 24	28.2% 22	78	10.3% 8
2008年 (採択数)	19.5% 15	31.2% 24	18.2% 14	78	3.8% 3

査読期間短縮を編集方針として進めてきたが、判定までの期間は年を追って短縮しており、特に180日以上ものは大きく減少した。

②JNSV 編集委員会に関する理事会承認事項

- ・編集委員長、副委員長の交代：1月25日付で、編集委員長を伏木亨氏から吉田宗弘氏に、副編集委員長を吉田宗弘氏から山本茂氏に交代する。
- ・編集委員数および任期に関する改訂：編集委員を30名とし、任期は2年3期までとする。

6) 研究業績の表彰および研究の奨励

(1) 平成 21 年度受賞者

功労賞 (佐伯賞)	坂本 元子	田中 平三	
学会賞	杉山 公男	伏木 亨	宮澤 陽夫
奨励賞	永尾 晃治	福渡 努	望月 和樹

(2) 平成 21 年度栄養・食糧学基金研究助成授与 栄養・食糧学学術基金研究助成 長岡 利

7) 研究活動の奨励

- (1) 栄養学若手研究者の集い
- (2) コレステロール研究会
- (3) 国際栄養を考える会
- (4) スポーツ栄養学研究会
- (5) ヒューマンカロリーメーター協議会
- (6) カルノシン・アンセリン研究会
- (7) 第 8 回 Hindgut Club Japan サテライトミーティング

8) 文部科学省の連絡・回答

- ・平成 22 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞および若手科学者賞候補者の推薦
- ・平成 21 年度特例民法法人概況調査の回答
- ・その他【作業依頼】、【調査依頼】、【照会】に対する回答の実施、【案内】、【情報提供】、【連絡】に対し関係理事等へ連絡・転送等を行った

9) 国内学術団体との連絡および協力

(1) 日本学術会議

- ・日本学術会議発行メールニュース (No. 197~No. 241) の周知
- ・生活科学系コンソーシアムへの参加
- ・アンケートの回答

(2) 日本医学会

- ・第 77 回日本医学会定例評議員会 (平成 22 年 2 月 24 日) へ出席
- ・第 2 回日本医学雑誌編集者会議総会 (平成 21 年 7 月 17 日) へ出席
- ・日本医学会に関するアンケートの回答
- ・シンポジウム等周知協力
- ・第 28 回医学会総会への協力

(3) その他の団体との共催、協賛、後援 (平成 21 年 3 月末日までの承認)

- ・日本糖質学会「第 29 回日本糖質学会年會」の共催
- ・ダノン健康・栄養普及協会「第 11 回ダノン健康・栄養フォーラム」の後援
- ・日本油化学会「第 3 回油化学セミナー」の協賛
- ・J S A A S 2009 実行委員会「日本アミノ酸学会第 3 回学術大会 (J S A A S 2009)」の協賛
- ・日本油化学会「日本油化学会第 48 回年会」の協賛
- ・日本食品機械研究会「第 7 回高付価値食品開発のためのフォーラム」の協賛
- ・日本油化学会関東支部「2009 年度第 2 回油化学セミナー」の共催
- ・(財) 不二たん白質研究振興財団「大豆のはたらき in 札幌一食を通して健やかな人生をー」の協賛
- ・味の素株式会社ライフサイエンス研究所「アミノ酸フロンティア会議」の協賛
- ・日本油化学会「4th J O C S - I L S I Japan Joint Sympojium 2009」の協賛
- ・日本キチン・キトサン学会「第 23 回キチン・キトサンシンポジウム」の協賛
- ・日本アミノ酸学会「I C N 2009 サテライトシンポジウム」の共催
- ・タケダライフサイエンス・リサーチセンター「第 21 回日本微量元素学会学術集會」の協賛
- ・(社)米穀安定供給確保支援機構「平成 21 年度食育健康サミット」の後援
- ・(社)日本油化学会「第 9 回基準油脂分析試験法セミナー」の協賛
- ・津田塾大学女性研究者支援センター「第 2 回 7 私立大学合同シンポジウム」の協賛
- ・第 4 回人間一生活環境系交際会議組織委員会「第 4 回人間一生活環境系国際会議」の協賛
- ・食品ハイドロコロイド研究会「食品ハイドロコロイドセミナー 2010」の協賛
- ・食品ハイドロコロイド研究会「第 21 回食品ハイドロコロイドシンポジウム」の協賛
- ・日本アミノ酸学会第 2 回産官学連携シンポジウムの協賛

- (4) 研究褒賞の周知
- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| (財)飯島記念食品科学振興財団/飯島記念食品科学賞 | (財)上原記念生命科学財団/上原賞 |
| (財)木原記念横浜生命科学財団/学術賞 | 慶應義塾医学振興基金運営委員会/慶應医学賞 |
| (財)材料科学技術振興財団/山崎貞一賞 | (財)富山県ひとづくり財団/とやま賞 |
| (財)内藤記念科学振興財団/内藤記念科学振興賞 | (財)日本医師会/医学賞 |
| (独)日本学術振興会/日本学術振興会賞 | (社)日本看護協会/ヘルシー・ソサエティ賞 |
| (財)日本農業研究所/日本農業研究所賞 | 福井県小浜市/杉田玄白賞 |
| (財)森永奉仕会/森永奉仕会賞 | 山崎貞一賞 |
- (5) 研究助成募集の周知
- | | |
|--------------------|-----------------------|
| (財)飯島記念食品科学振興財団 | うまみ研究会 |
| (財)エリザベス・アーノルド富士財団 | (財)加藤記念バイオサイエンス研究振興財団 |
| (財)旗影会 | 公益信託家政学研究所助成基金 |
| 国際アミノ酸科学協会 | (財)ソルト・サイエンス研究財団 |
| ダノン健康・栄養普及協会 | タカノ農芸化学研究所助成財団 |
| 中央味噌研究所 | (財)内藤記念科学振興財団 |
| (財)日本医師会 | (財)日本科学協会 |
| (財)日本食品化学研究振興財団 | (財)日中医学協会 |
| ネスレ栄養科学会議 | (財)ファイザーヘルスリサーチ振興財団 |
| (財)不二たん白質研究振興財団 | (財)ホクト生物科学振興財団 |
| (財)森永奉仕会 | やずや食と健康研究所 |
| 株式会社山田養蜂場 | |

10) 国際学術団体への協力

- (1) International Union of Nutritional Sciences (I U N S)
- ・平成22年9月開催予定 I U N S リーダーワークショップ支援
 - ・I U N S 総会にて本学会推薦の板倉弘重先生と野口忠先生が I U N S フェローに決定
- (2) International Union of Food Science and Technology (I U F o S T)
- ・第9回 I U F o S T - Japan 公開シンポジウム「食品の安全と安心」を支援
- (3) Federation of Asian Nutrition Societies (F A N S)
- ・本会は F A N S との活動窓口になり主体的な取り組みを進行
 - ・F A N S Newsletter 新版を提出
 - ・平成21年10月にバンコクでの F A N S 会議にて、第12回アジア栄養学会議(平成27年)の日本開催が決定
- (4) Korean Society of Food Science and Nutrition (K F N)、Nutrition Society of Taiwan (N S T) 等との交流
- a) K F N の Park 会長と MOU 締結
 - b) N S T の Wang 会長との MOU 締結
 - c) 中国の団体 Public Nutrition and Development Center との交流
 - d) Chinese Nutrition Society との MOU 交流の検討開始
- (5) International Congress of Nutrition (I C N)
- ・平成21年10月4日～9日の第19回国際栄養学会議(19th I C N、バンコク)について、本学会としてグループ参加を実施。事前にグループ登録した会員には10%の参加費割引があり、多くの会員が参加
 - ・本学会推薦の藤巻正生先生が Living Legend に決定

11) 総会、理事会、評議員会等の開催状況

- (1) 評議員会
- | | | | | | |
|-------|-------|-----|------------|--------|---------|
| 平成21年 | 5月20日 | (水) | 9:30~10:20 | 長崎市茂里町 | ブリックホール |
|-------|-------|-----|------------|--------|---------|
- (2) 総会
- | | | | | | |
|-------|-------|-----|-------------|--------|---------|
| 平成21年 | 5月20日 | (水) | 10:30~11:20 | 長崎市茂里町 | ブリックホール |
|-------|-------|-----|-------------|--------|---------|
- (3) 理事会
- | | | | | | |
|-------|--------|-----|-------------|-------------------|--------|
| 平成21年 | 5月19日 | (火) | 15:00~17:00 | 長崎県立大学 | シーボルト校 |
| 平成21年 | 7月18日 | (土) | 13:10~16:45 | キャンパス・イノベーションセンター | |
| 平成21年 | 10月24日 | (土) | 13:15~16:45 | キャンパス・イノベーションセンター | |
| 平成22年 | 1月9日 | (土) | 13:15~17:00 | お茶の水女子大学 | |
| 平成22年 | 3月13日 | (土) | 13:15~17:00 | お茶の水女子大学 | |

- (4) 臨時理事会
平成 22 年 1 月 21 日 (木) 17:30~18:30 学会事務所
- (5) 次期会長候補者選出委員会
平成 22 年 2 月 14 日 (土) 13:30~16:30 お茶の水女子大学
平成 22 年 3 月 13 日 (土) 12:00~13:00 お茶の水女子大学
- (6) 役職理事会
平成 21 年 6 月 13 日 (土) 13:00~17:00 キャンパス・イノベーションセンター
平成 21 年 7 月 18 日 (土) 10:00~12:00 キャンパス・イノベーションセンター
平成 21 年 10 月 24 日 (土) 10:00~12:00 キャンパス・イノベーションセンター
平成 22 年 1 月 9 日 (土) 10:00~12:00 お茶の水女子大学
平成 22 年 3 月 13 日 (土) 10:00~12:00 お茶の水女子大学
- (7) 名誉会員・顧問懇談会
平成 21 年 4 月 11 日 (土) 12:00~14:00 女子栄養大学
・新公益法人制度対応の件
・国際学会招致の件
- (8) 名誉会員・終身会員推薦委員会
平成 22 年 1 月 9 日 (土) 9:45~10:00 お茶の水女子大学
- (9) 新公益法人制度対応WG 打合せ
平成 21 年 7 月 4 日 (土) 10:00~12:00 学会事務局
平成 21 年 8 月 22 日 (土) 9:00~12:15 学会事務局
平成 21 年 9 月 5 日 (土) 10:30~18:30 学会事務局
平成 21 年 12 月 26 日 (土) 13:00~17:00 学会事務局
平成 22 年 2 月 6 日 (土) 10:30~15:30 学会事務局

12) 委員会活動

- (1) 各種授賞等選考委員会 平成 21 年 5 月 20 日 (水)、12 月 12 日 (土)
- (2) 学会活動強化委員会 メール会議
・学会活動強化費 (関東、近畿、中国・四国、の各支部から申請) による学術企画の支援
・会員増・若手活動強化費 (中部、九州・沖縄の各支部から申請) による企画支援
・栄養・食糧学基金研究助成の予備審査
・栄養・食糧学基金国際交流助成の予備審査
- (3) 倫理委員会 倫理審査申請 2 件 (書面審査) メール審査
- (4) 広報委員会
・第 63 回日本栄養・食糧学会大会記者会見 平成 21 年 5 月 8 日 (金) 東京
・オンライン会員管理システムへの切替
・新ホームページの作成と公開 (URL <http://www.jsnfs.or.jp/>)
・EiShoku News! 平均月 1 回
- (5) 国際交流委員会 平成 21 年 6 月 13 日 (土)、平成 21 年 10 月 24 日 (土)
- (6) 非常置委員会
・用語辞典委員会 メール会議 2 回
・栄養成分表示・栄養教育検討委員会 メール会議 1 回
・アミノ酸データベース委員会 アミノ酸データベースの更新